

# 第 2 章

## 豊かな心を育む 文化の薫るまちづくり

第 1 節	「学校教育」	学校教育を充実する . . . . .	46
第 2 節	「幼児教育」	幼児教育を充実する . . . . .	48
第 3 節	「生涯学習」	生涯学習を充実する . . . . .	50
第 4 節	「青少年」	青少年を健全育成する . . . . .	52
第 5 節	「文化・芸術」	歴史・伝統・文化を 伝承し創造する . . . . .	54
第 6 節	「スポーツ」	スポーツの普及・振興を図る . . . . .	56

現状と課題

学校は適切な教育課程の編成を行い、指導方法や指導体制を工夫改善したり、IT機器の活用等創意工夫あふれる教育活動を展開し、楽しくわかる授業を通して教育目標を達成していくことが求められています。社会情勢が日々変化し、子どもを取り巻く環境も大きく変わってきている中で、心身ともに健全な子どもを育てるためには、学校と家庭・地域が一体となって知・徳・体の調和的発達のもとに、子ども自らが自分の生き方を考え、決定し、行動していく力や問題解決能力を身につけさせることが大変重要になってきています。

また、学校施設の耐震化改修の取り組みは、平成27年度で完了する見込みですが、さらに吊り天井等非構造部材の対策に取り組むなど、子どもにとって安全で安心な教育活動の場とする必要があります。

基本方針

児童生徒の確かな学力と情報の利活用力の向上を図るための学習環境整備に努めるとともに、学習指導方法の工夫や改善、授業でのIT機器の積極的な活用を図ります。併せて、児童生徒に対して将来を見据えたIT技術の理解を深める学習や情報モラル教育も進めながら、学校におけるITの活用・普及を推進します。

また、食育を通して健康な心身の育成や伝統的な食文化の継承を図るとともに、地域の人々とのふれあいや地域に出かけて行う自然体験、社会体験、ものづくり体験、職場体験等ふるさと学習を通して、ふるさとへの愛着と誇りを養うとともに、ふるさとの今を知り、地域課題に向き合うことで、ふるさとの将来に自分が果たすべき役割に対する使命感を醸成し、地域社会の一員としての自覚を身につけた心豊かな人間性・社会性を持つ児童生徒を育みます。

さらに、学校は子どもが一日の大半を安心して安全に過ごせる活動の場であるとともに、非常災害時の地域住民の応急的な避難場所としての役割も担う施設であるため、快適な教育環境と安全性のある施設の確保に努めます。

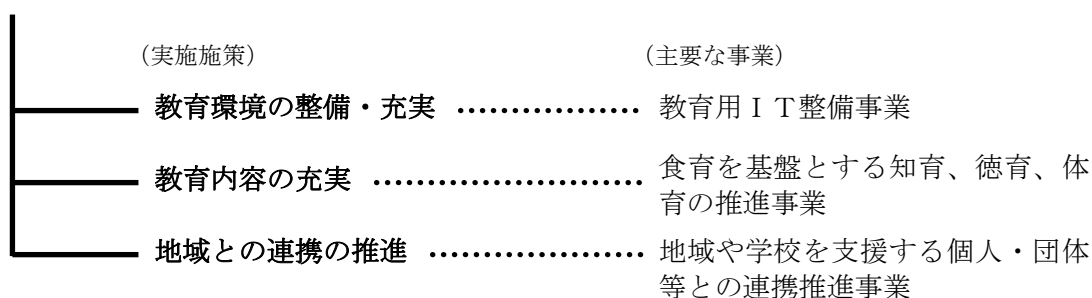
施策成果指標

指標名	内容	単位	現状値	目標値
普通教室のIT機器配置率	【IT機器配置教室数/小中学校普通教室数】 学習環境の整備を図るための指標として、普通教室へのIT機器配置の増加を目指します。	%	45 (平成25年度)	80 (平成28年度)

## 施策体系

(基本施策)

学校教育を充実する



## 主要な事業の概要

事業名称	事業概要
教育用 I T 整備事業	普通教室に I T 機器 (プロジェクター等) を設置し、タブレット端末を活用した授業を実施することで、学習内容への興味関心を高めるとともに、わかりやすい授業に努め、一層の学力向上を目指します。併せて、児童生徒への情報モラル教育も進めます。
食育を基盤とする知育、徳育、体育の推進事業	食を通じて、健康な心身の育成や伝統的な食文化の継承を図ります。また、道徳心の育成や市独自の学力テストによる基礎学力の向上に努め、不登校者の減少や豊かな心と学力、体力を育む学校教育を推進します。
地域や学校を支援する個人・団体等との連携推進事業	地域や学校を支援する個人・団体等と連携を深め、市内の伝統産業や人、自然、文化を学ぶ教育を推進し、自分が生まれ育った地域に誇りと愛着を持ち、ふるさとを大切にしようとする心を育てる学習に努めます。



■ 中河小学校 … I T を活用した学習発表会

現状と課題

幼児期は人格形成の基礎が培われる大変重要な時期であり、幼児教育は義務教育およびその後の教育の基礎を培う重要な役割を担っています。

近年、多くの子どもについて、基本的な生活習慣が身につけていない、食生活が乱れている、自制心や規範意識が十分ではない、運動能力が低下している、コミュニケーション力不足など小学校生活にうまく適応できない問題点が指摘されています。

また、家庭や地域の教育力も現状に対応できず、むしろ低下しているのではとの指摘もあります。そこで、家庭や地域と連携して就学前教育の充実を図るとともに、小学校との交流事業等をより活発に行い、幼児が学校生活に円滑に溶け込んでいけるよう努める必要があります。

基本方針

保育所（園）・幼稚園・認定こども園\*における幼児教育は、基本的な生活習慣や食生活の形成、規範意識の育成などの課題に対して大変重要な役割を担っています。そこで、子どもたちが健やかに育ち、元気で就学していくために、家庭との連携による食育の推進や遊びのなかで基本的な生活習慣の定着、園外活動による体力増進に努めながら、小学校との交流事業の充実を図ります。

また、幼児期の教育は、園（所）と家庭・地域での教育とが一体となることでより有効なものとなり、小学校への移行がなめらかに行えることから、地域の幼児が気軽に遊びに来て、保育所（園）・幼稚園・認定こども園\*が地域に開かれた施設となるような取り組みを進めます。

施策成果指標

指標名	内容	単位	現状値	目標値
小学校との交流事業数	就学前教育の充実を図るための指標として、運動会や小学校行事への参加、保育所（園）・幼稚園・認定こども園*行事への児童の招待等の交流回数の増加を目指します。	回	170 (平成25年度)	200 (平成28年度)



■ 小学校との交流事業

## 施策体系

(基本施策)

幼児教育を充実する

(実施施策)

幼児教育の充実

(主要な事業)

学校等と連携した幼児教育の推進事業

## 主要な事業の概要

事業名称	事業概要
学校等と連携した幼児教育の推進事業	人格形成の基礎を培う幼児期に家庭・学校・地域と連携を図りながら、基本的な生活習慣の形成や社会性、道徳性、創造性豊かな子どもの育成に努めます。



■ かまぐらでぬり絵



■ 裸足で元気に竹馬

### 現状と課題

余暇時間や自由時間の増大を背景に、生きがいや心の豊かさを求める時代となり、自己の充実を図る上で、生涯学習に対する市民の関心や意欲が高まるとともに、学習内容に対するニーズは多様化・高度化してきています。

こうした中で、さまざまな分野における学習機会の提供を図っていく必要があります。さらに、そこで培った経験や習得した知識を地域の活性化に活かせるよう、市民主体の学習活動の促進と地域の教育力の向上を図るとともに、地域の生涯学習活動を支援するために、関係機関や関係団体との連携が必要です。

### 基本方針

市民一人ひとりの学習意欲の高まりに応え、生涯学習によるまちづくりを推進するため、各種の学級・文化講座や講演会をはじめとした多様な学習機会を提供します。また、高齢者が自ら学び地域社会活動への参画を図るため、全国に誇れる高年大学の充実を図ります。

そして、地域人材の発掘・育成、社会学習成果の地域での活用などにより、地域における生涯学習体制を整備し、充実した学習活動が行えるよう支援します。さらに、生涯学習の場となる施設の整備を進めて、「いつでも・どこでも・だれでも・たのしく学べるまち」の創造を目指します。

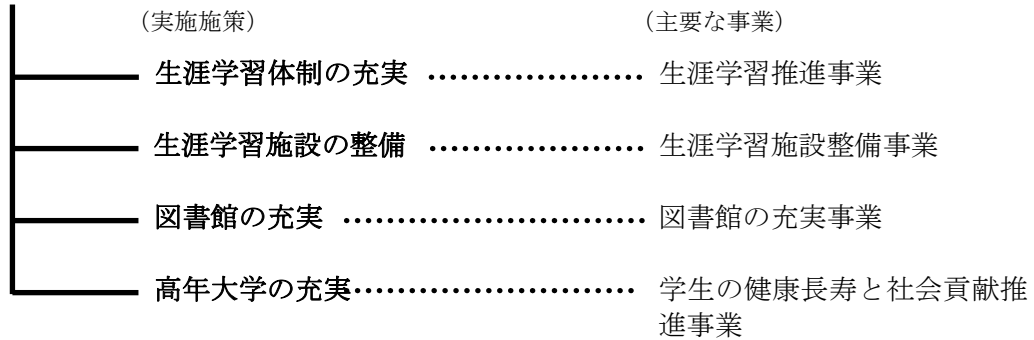
### 施策成果指標

指標名	内容	単位	現状値	目標値
公民館の利用者数	より多くの人々が学習活動や地域活動を通じて、ぬくもりのある地域コミュニティを形成していくための指標として、生涯学習や防災など地域のさまざまな活動拠点である地区公民館利用者数の増加を目指します。	人	490,202 (平成25年度)	500,000 (平成28年度)
図書館の入館者数	市民の心を豊かに培う図書館の充実を図るための指標として、市民のための市民の図書館として、入館者数の増加を目指します。	人	293,294 (平成25年度)	300,000 (平成28年度)
高年大学の利用者数	高齢者の生きがいづくりの場を提供するとともに、市民のための高年大学を目指す指標として、公開講座等を充実し、高年大学の利用者数の増加を目指します。	人	27,626 (平成25年度)	28,000 (平成28年度)

## 施策体系

(基本施策)

生涯学習を充実する



## 主要な事業の概要

事業名称	事業概要
生涯学習推進事業	市民一人ひとりの学習意欲に応えるため、公民館・勤労青少年ホーム・高年大学において各種学級や文化講座を実施するなど、各世代に応じた学習機会を提供します。
生涯学習施設整備事業	より多くの人が学び、ふれあえる、利用しやすい施設とするために、市民の主体的な活動の場を整備し、提供します。
図書館の充実事業	知識の集積拠点として、資料を蓄積し提供するとともに、ボランティアグループ「さばえ図書館友の会」と協働し、乳幼児から高齢者まで年齢層に応じた様々な事業を展開して、豊かな心を育もうとする市民を支援します。
学生の健康長寿と社会貢献推進事業	健康長寿と社会貢献をテーマに、IT学習やボランティア活動をはじめとする幅広い分野の学習機会を提供するとともに、学習成果や培われた人材を地域社会の活性化に活かす高齢者の拠点施設とします。



■ こどもの読書支援事業 … こどものつどい



■ 公民館合宿通学… 新横江公民館にて

現状と課題

現代社会では、親子のふれあい不足や地域への関心の薄れ、遊び集団の少人数化などに起因した子どものコミュニケーション能力や他人を思いやる心の未発達が問題となっています。また、少年犯罪の低年齢化などが懸念されており、家庭、学校、地域が連携した組織的な非行防止活動の推進が求められています。

さらに、青年層のひきこもりなどに対応するため、誰もが気軽に参加できるボランティア活動など、青年が活躍できる場が求められています。このような状況の中、勤労青少年ホームを、広く若者が集い、若者に親しまれるようにホーム利用対象者の拡大に取り組む必要があります。また、青年団は、各種まちづくりイベントに積極的に参加するなど、青年層の活性化に取り組んでいますが、さらにその存在をPRし輪を広げる必要があります。

基本方針

青少年健全育成鯖江市民会議を中心に取り組んでいる、子どもを取り巻く環境の浄化活動や地域のふれあい活動、市民会議を構成する青少年に関わる多くの団体、組織が実施する青少年健全育成事業に対して支援を行います。さらに、家族の絆を深める取り組みなど家庭教育の支援となる事業を推進し、家庭や地域の教育力向上とともに子どもたちの活動の活性化と健全育成を図ります。

また、地域の青少年健全育成体制を充実し、地域ぐるみで青少年を守り育てる環境をつくとともに、青少年補導体制を充実し、関係機関と連携して非行や問題行動の予防、早期発見、早期対応に努めます。

青年層に対しては、成人式の企画委員活動や勤労青少年ホーム・青年会館の活用などにより、同世代とのふれあいや社会との接点の場をつくり、連帯感の創出や社会参加の促進を目指します。

施策成果指標

指標名	内容	単位	現状値	目標値
勤労青少年ホームの利用者数	青少年の健全育成を図るための指標として、勤労青少年ホームに若者が気軽に立ち寄れて、常に人が集い、若者の活動の拠り所になるためにタイムリーに若者が望んでいる講座を開催し、利用者数の増加を目指します。	人	20,200 (平成25年度)	21,000 (平成28年度)



■ 新成人の実行委員形式による成人式



## 施策体系

(基本施策)

青少年を健全育成する

(実施施策)

(主要な事業)

青少年の健全育成 ..... 青少年健全育成推進事業

## 主要な事業の概要

事業名称	事業概要
青少年健全育成推進事業	家族の絆・ふれあいを深める事業を推進するとともに、地域ぐるみでの青少年の健全育成活動を充実するため、関係団体への支援を実施します。また、関係機関と連携して青少年の喫煙、薬物乱用などの非行に対する防止対策を推進します。



■ 光でつなぐ家族の絆 … 西山公園イルミネーション事業

現状と課題

人々の生活様式や価値観が多様化し、物の豊かさから心の豊かさを求める意識が高まる中、文化の果たす役割は、活力ある社会の形成にとって極めて重要です。

そのために、歴史的・文化的な資産を市の宝として保存・活用し、郷土に愛着と誇り、夢を持てるまちづくりを展開していく必要があります。文化活動の中心は「人」であり、その人と人とのつながりをどのように作り出すかが重要な課題であり、文化活動の横断的なネットワークをつくり出す機会を用意すること、人材を発掘し、活動機会を提供することが必要となっています。

基本方針

文化・芸術の振興にあたっては市民一人ひとりの自主性、創造性が必要であり、市民が心の豊かさを実感し、地域の一員であることを自覚できるように、子どもから高齢者までが、文化・芸術の鑑賞や自らが参加できる場、機会を得られるための環境整備を進めます。

また、伝統産業や食等の文化遺産も含めて、地域に根ざした文化財を継承するとともに、特徴ある地域社会の形成に資する地域主導による歴史文化遺産の保存・活用を図るための環境整備を支援していきます。

施策成果指標

指標名	内容	単位	現状値	目標値
鯖江市美術展の来場者数	美術文化の振興を図るための指標として、市美術展への来場者の増加を目指します。	人	13,466 (平成25年度)	15,000 (平成28年度)
指定・登録文化財数	文化財の保護・活用を図るための指標として、市内に埋もれている文化財を発掘、調査し、指定・登録文化財の増加を目指します。	件	183 (平成25年度)	200 (平成28年度)
まなべDEわくわくアートフェスタの参加者数	子どもたちが文化・芸術に自らが参加するための指標として、まなべDEわくわくアートフェスタへの参加者数の増加を目指します。	人	350 (平成25年度)	370 (平成28年度)

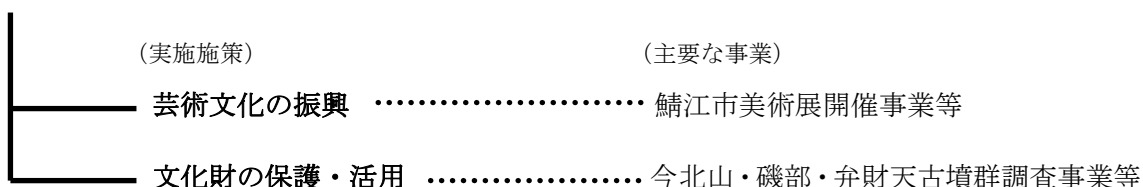


■ まなべの館

## 施策体系

(基本施策)

歴史・伝統・文化を伝承し創造する



## 主要な事業の概要

事業名称	事業概要
鯖江市美術展開催等	本市の美術文化の向上を図り、市民に親しまれる美術の祭典となることを目的として、鯖江市美術展を開催するほか、まなべの館において、子どもから高齢者までが文化・芸術を鑑賞できる企画展を開催します。
今北山・磯部・弁財天古墳群調査等	測量および発掘調査によって古墳群の概要を明らかにし、国指定文化財への格上げを行い、史跡公園としての整備・活用を目指すとともに、地域に存在する歴史文化遺産の保存・活用事業を進めます。



■ 鯖江市美術展



■ 今北山古墳群

第6節 「スポーツ」…スポーツの普及・振興を図る

現状と課題

少子高齢化が進む中、生涯スポーツの基礎を培う大切な時期である少年期において、外遊びの機会の減少や体力の低下等の問題があります。さらに高齢者の介護予防を目的とした健康づくりがますます重要になっています。

一方で、本市におけるスポーツ振興の目安となる、総合型地域スポーツクラブ\*およびスポーツ少年団の加入状況等はここ数年停滞しています。また、スポーツ施設に関しては、稼働率が上限いっぱいとなる特定の日時以外の未利用時間の活用とともに、施設の老朽化による利用者の安全・安心の確保も大きな課題です。

スポーツの普及・振興には、体育協会や種目協会、スポーツクラブ等の充実および活性化が重要となっています。さらに、平成30年「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会の開催が、市民のスポーツに対する興味・関心を高めるきっかけとなり、地域の活性化につながる大会になるよう取り組む必要があります。

基本方針

スポーツ人口の底辺拡大や日常生活でのスポーツ習慣の定着には、青少年期におけるスポーツへの取り組みが大きく作用します。児童のスポーツへの接点は、体育授業以外では単一種目の競技力向上が目的のスポーツ少年団での活動が主体であり、幅広いスポーツ種目への取り組みが不足しています。このため、生涯スポーツへの発展が期待できる総合型地域スポーツクラブ\*との連携について長期的視野に立って強化を図っていきます。

また、鯖江市の充実したスポーツ環境を有効に活用し、性別、年齢、障がいの有無に関わらず、誰もがいつまでも気軽にスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現を目指すとともに、安全・安心でスポーツに取り組むことのできる施設整備や環境整備に努めます。

さらに、平成30年「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会の開催により、子どもたちがトップアスリートを目指す夢や希望を持つよう、また市民とともに開催する大会になるよう、また、競技関係者や多くの観客の方など、全国から訪れる方々に対し、「おもてなし」の心でお迎えできるよう努めます。

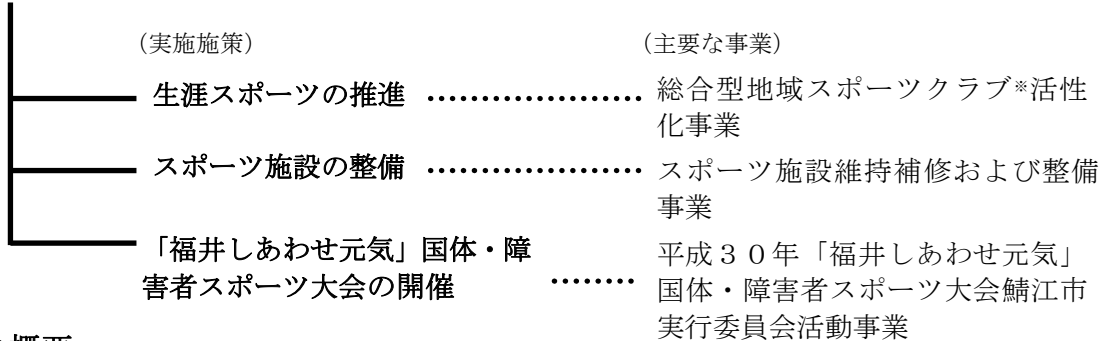
施策成果指標

指標名	内容	単位	現状値	目標値
総合型地域スポーツクラブ*の加入者数	生涯スポーツの推進を図るための指標として、3つの総合型地域スポーツクラブ*の加入者数の増加を目指します。	人	2,278 (平成25年度)	2,500 (平成28年度)
スポーツ施設等の利用者数	スポーツの普及・振興を図るための指標として、既存スポーツ施設の適切な維持管理による利用者の安全・安心の確保と有効活用により、利用者数の増加を目指します。	人	338,096 (平成25年度)	350,000 (平成28年度)

## 施策体系

(基本施策)

スポーツの普及・振興を図る



## 主要な事業の概要

事業名称	事業概要
総合型地域スポーツクラブ*活性化事業	市内3中学校区にそれぞれ総合型地域スポーツクラブ*が設立されています。各クラブの自主財源の確保や自主運営体制の強化を図るため、今後の生涯スポーツ振興の根幹である総合型地域スポーツクラブ*の活性化や3つのクラブと鯖江市体育協会が互いに連携や協力できる体制づくりに努めます。
スポーツ施設維持補修および整備事業	スポーツ施設が老朽化する中、国等の助成制度も活用し、既存施設の機能維持、利用者の安全・安心のための適切な修繕および整備を実施し、施設が利用しやすくなる環境づくりに努めます。また、利用者数や利用形態の変化が著しい施設については、市民のニーズに沿った施設のあり方について検討します。
平成30年「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会実行委員会活動事業	平成30年「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会の開催に向けて実行委員会を設置し、各団体と連携して市民とともに開催する大会になるよう、また、子どもたちの明るい未来に繋がる大会になるよう準備に取り組みます。



■ つつじマラソン



■ ジュニア体操



近松の禰にふれあうまち 鯖江

■ ちかもんくん … 「近松門左衛門」のイメージキャラクター